

誰もが

**「困ったときは助けて！」**

と言える地域づくり

～ 雲南市における生活支援体制整備事業～

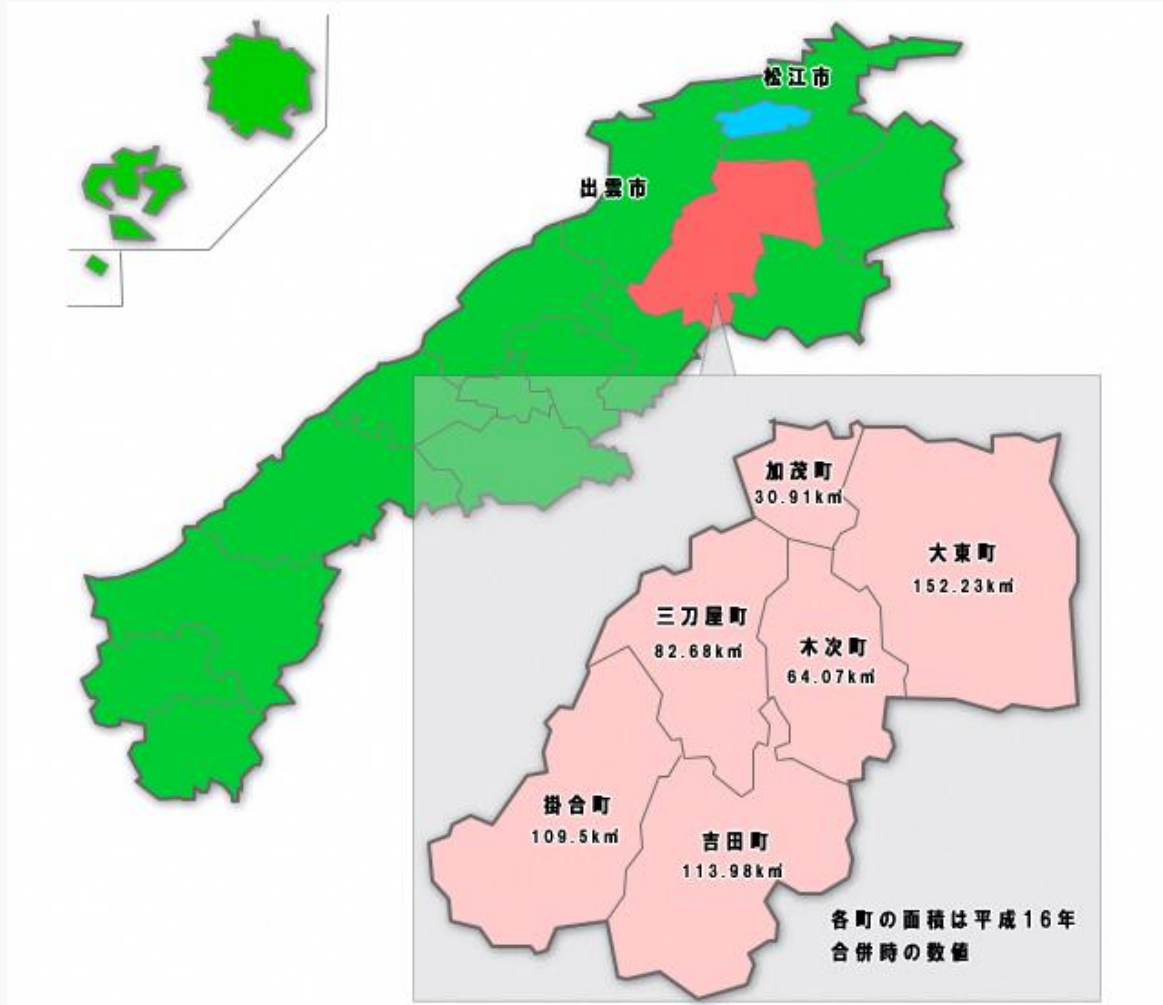


雲南市



社会福祉法人 雲南市社会福祉協議会

# 雲南市の地域概要



平成16年11月1日 6町村の合併により誕生

- 人口：35,738人
- 世帯数：13,589世帯
- 高齢化率：40.27%
- 面積：553.18km<sup>2</sup>
- 中山間地で全域が過疎指定

(R4.12末データ)

## 第11回

# 「住みたい田舎ベストランキング」

## シニア世代部門【宝島社】

(3万人以上5万人未満のまち)

# 第1位



# 雲南市の名所(歴史・自然・文化)



全国最多39個の銅鐸：加茂岩倉遺跡



さくら名所：斐伊川堤防桜並木・願い橋



幸せを運ぶコウノトリ：西小学校



日本初乃宮：須我神社



中国地方随一の名瀑：龍頭が滝



たたら製鉄の遺構：菅谷たたら高殿

# 地域自主組織の概要

【生活支援コーディネーター（以下「SC」）】

## 組織 & 拠点施設 & 常設事務局

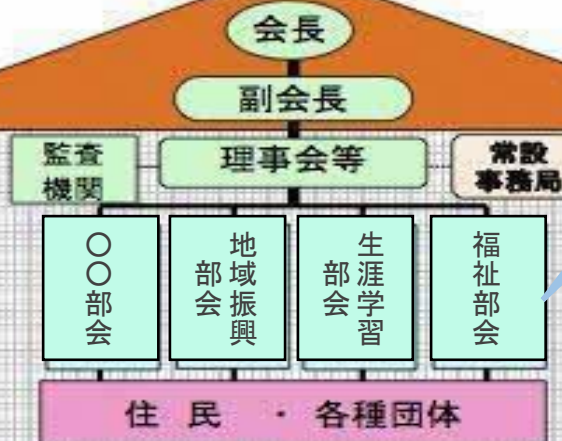
第2層SCを兼ねる

～概ね小学校区～

行政  
(地域づくり担当)

市内全域に30組織

1地域あたり  
200人弱  
～6000人程度  
(平均約1350人)



標準的な構成

- ◆ 福祉部長
  - ▶ 地域福祉推進員
  - ▶ 民生児童委員
  - ▶ 自治会福祉委員
  - ▶ 地域ボランティア
- etc

「交流センター」30か所

- ・公民館を転換(H22)
- ・組織の活動拠点

三本柱事業

地域福祉

生涯学習

まちづくり



地域課題を、住民自らが、事業化して解決！

# 地域自主組織(一覽)

## ■面積規模

0.85~73km<sup>2</sup>程度  
(平均約18.45km<sup>2</sup>)

## ■人口密度

10~925人/km<sup>2</sup>程度  
(平均193人/km<sup>2</sup>)



## ■人口規模

200人弱~6000人程度  
(平均約1350人)

## ■世帯数

60弱~1900世帯程度  
(平均約440世帯)



# お伝えしたい2つのポイント

【1】 事業を推進する「体制」と「連携」  
～ 雲南市SCI名と社協SCI名体制の強み ～

【2】 目指す地域づくりに向けた3つの柱  
～ 学び合いの積み重ねによる体制づくり ～

# これまでの推進体制

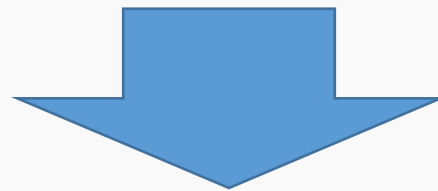
---

OH30～RI

第1層SC	重点支援地域に指定した地域自主組織へ配置(2～3名)
第2層SC	地域自主組織の地域福祉推進員

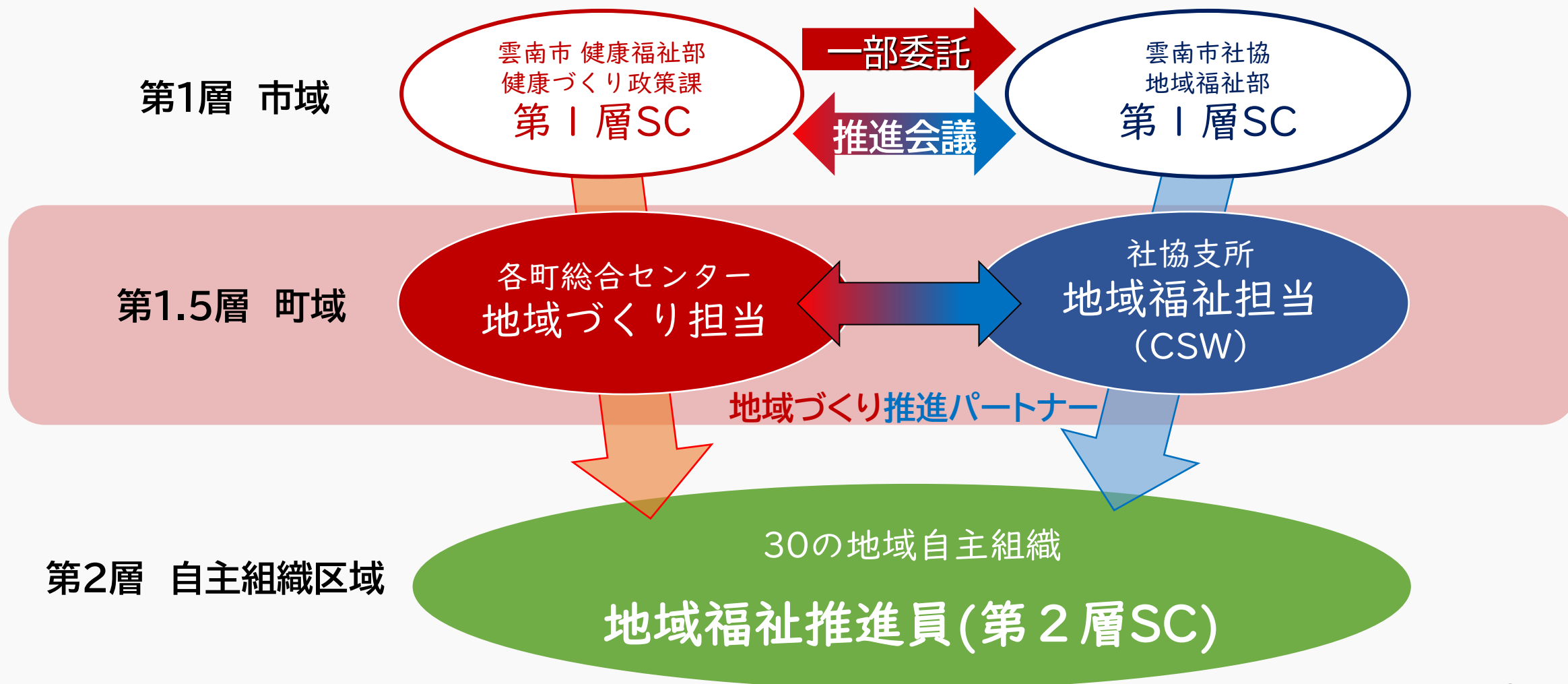
OR2

第1層SC	雲南市職員3名が兼務
第2層SC	地域自主組織の地域福祉推進員





# 令和3年度からの推進体制



# それぞれの役割

## ◆第1層SC

- 地域福祉推進員及び市地域づくり担当、社協地域福祉担当と連携し地域の状況を把握する
- 市域又は複数地域が学び合う場を実施する
- 地域や専門職だけで解決できない生活課題を把握し、解決するための「連携・協働する話し合いの場【第1層協議体】」を、必要な関係者とともに実施する

## ◆雲南市地域づくり担当・社協地域福祉担当(CSW)

- 地域の相談窓口となり、その地域ならではの福祉活動を支援する
- 町域の定期的な学び合いの場を実施する
- 第1層生活支援コーディネーターと連携する

## ◆地域福祉推進員(第2層SC)

- 福祉活動（学び合い）を通じて地域住民の共感を促す
- 地域の方が楽しんだり、顔見知りになる「つながりの場」を企画及び支援する
- 地域（個人）の生活課題の解決・緩和に向けた「連携・協働する話し合いの場【第2層協議体】」を実施する

# One Teamで推進していくために

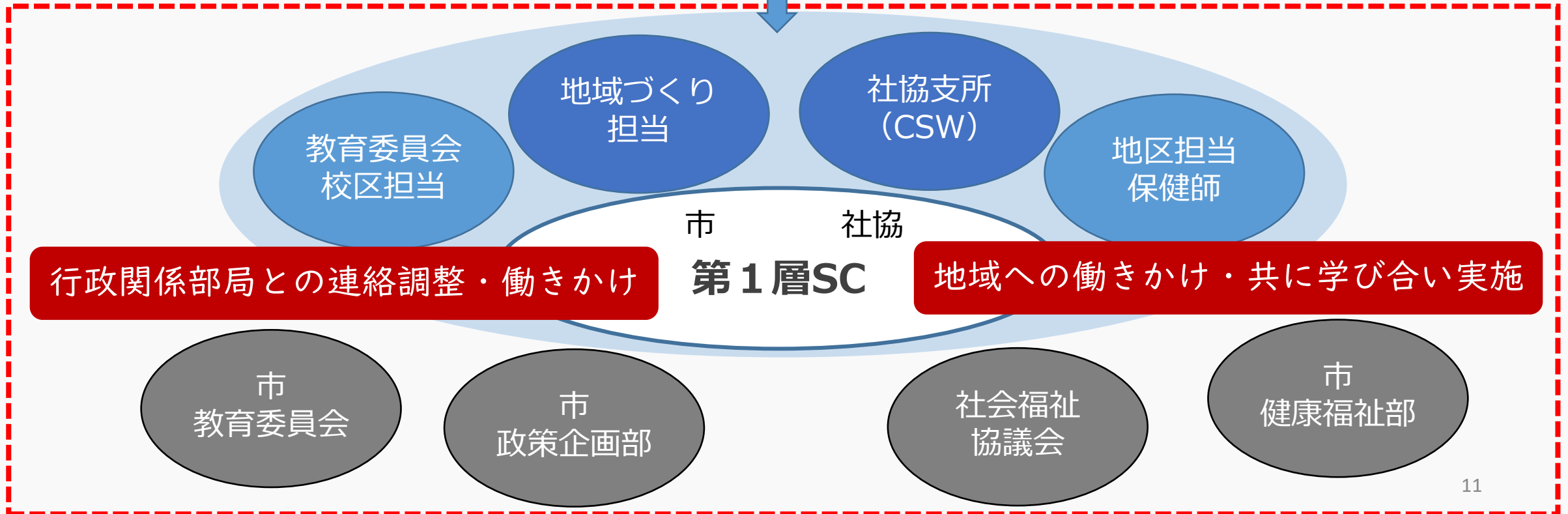


市民

地域自主組織

地域福祉推進員(第2層SC)

One Team



行政関係部局との連絡調整・働きかけ

第1層SC

地域への働きかけ・共に学び合い実施

市  
教育委員会

市  
政策企画部

社会福祉  
協議会

市  
健康福祉部

ポイント1のまとめ

市と社協

「それぞれの強みを活かし合うしくみづくり」  
への挑戦！

## 2つ目のポイント

【1】 事業を推進する「体制」と「連携」  
～ 雲南市SC1名と社協SC1名体制の強み ～

【2】 目指す地域づくりに向けた3つの柱  
～ 学び合いの積み重ねによる体制づくり ～

# アセスメントから…

## 現実の好ましくない状態（問題）

- 気軽に相談する人・場所が少ない
- 地域の方に“助けて”と言いきにくい
- 個人の課題を話し合う場がない（少ない）
- 困っている人（事）に気づかない
- 気づいてもどうしてよいかわからない
- 共助・公助それぞれで支えることの限界

## 理想とする状態（目標）

誰もが「困ったときは助けて！」  
と言える地域

### 1 ふくしを思う人づくり



### 2 人がつながる地域づくり



### 3 連携と協働する話し合いの場づくり



# 1 ふくしを思う人づくり

▶ **対話**や**学び合い**を通じた人づくり「無関心」を「**関心**」へ

第2層

地域学び合い会議  
(地域自主組織単位)

第1.5層

町別学び合い会議  
(町域単位)

第1層

市域学び合い会議



ふくして何か学び合う

地域の生活課題を意見交換

助け合いの楽しいを体験

認知症について学び合い

自分にできることなどを意見交換

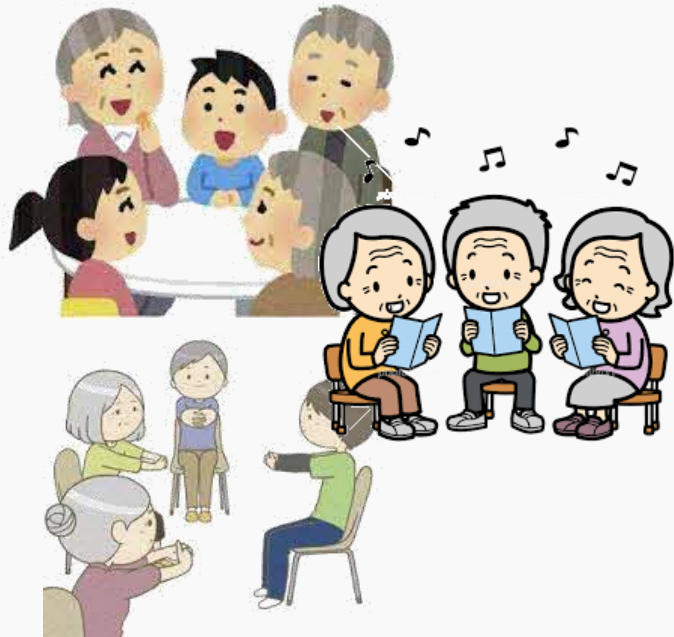


プラットフォームを形成し協働実践

# 2 人がつながる地域づくり

▶ 「人間関係」 「社会性」 「地域の支え合い」 づくり

地域自主組織を核とした  
福祉活動



日頃の暮らしのつながりの  
発見・発掘



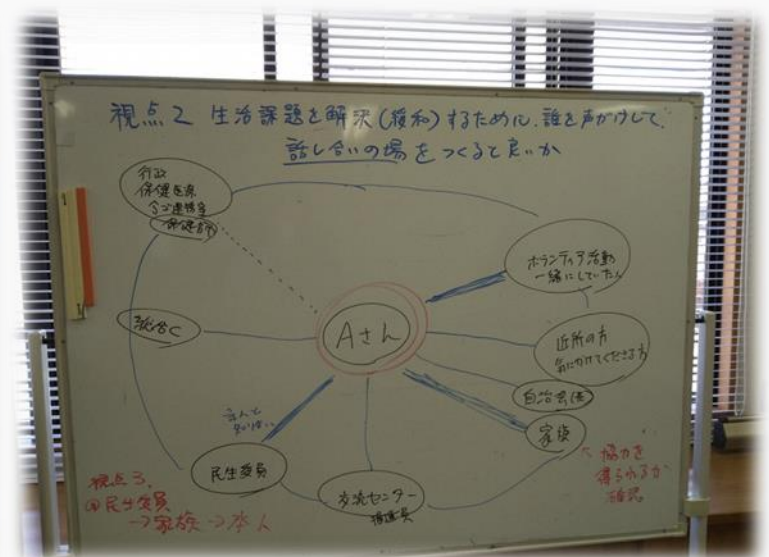
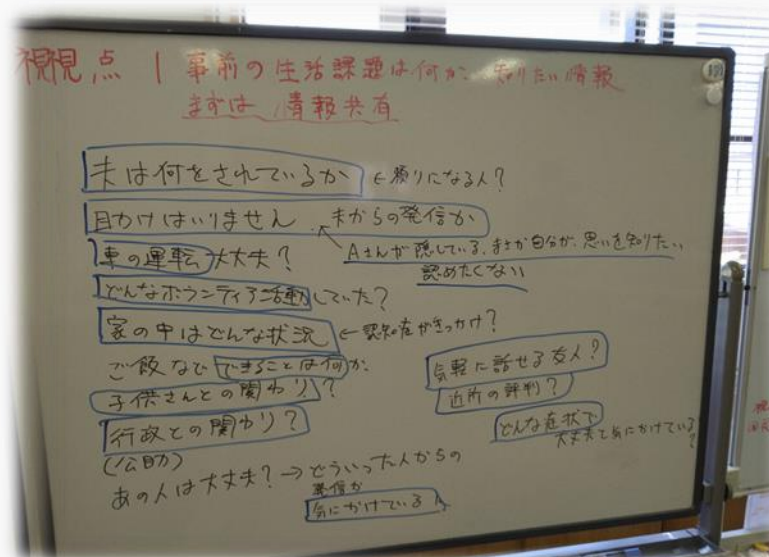
つながりたい人が見つかる  
支援者名簿





# 3 連携・協働する話し合いの場づくり

▶ 生活課題や困りごとの解決に向けて、共助と公助が意見を出し合い、一緒にやったらよいことやできそうなことなどを話し合う場 = **協議体**



第2層協議体の実践に向けた意見交換と個別事例をもとに協議体を体験

## ポイント2のまとめ

**雲南市の生活支援体制整備事業は、  
学び合いながら  
みんなで創っていくもの**

**ご清聴ありがとうございました**